

サポートファイル

記入の仕方の手引き



フェイスシート

作成日 年 月 日

ふりがな みくまの たろう	性別
名前 みくまの 太郎	①男・女
生年月日 H10年 1月 1日生	
ふりがな みくまの はなこ	
保護者氏名 みくまの 花子	
現住所 〒 〇〇〇-〇〇〇〇 和歌山県 新宮市蜂伏 13-26	
転居など 〒 -	上記の現住所から引っ越した場合は、 下の転居先にご記入下さい。
転居など 〒 -	




家族構成(本人を含む)

氏名	続柄	備考(勤務先・就学先・所属等)
みくまの 〇〇〇〇	父	〇〇〇株式会社
みくまの ××××	母	主婦 → 〇〇店パート
みくまの △△△△	本児	△△△小学校
みくまの □□□□	弟	□□□保育所

その他援助者(祖父母など)

氏名	続柄	備考
みくまの ●●●●	祖母	パート勤務(月・木休み)、新宮市内在住

育ちの歩み





年度	H1 年度(0 才児・学年)	H2 年度(1 才児・学年)	H3 年度(2 才児・学年)
家族 転居 兄弟の誕生 など	父・母・兄(2歳) 本児誕生 		初めて歩いた(〇月) 「マンマ」と言えた
医療 病院 担当医 投薬 受診の記録 医療的ケア リハビリ(言語療法・ 作業療法・理学療法等) など		心臓手術(△月△日) 〇〇病院〇〇科 〇〇〇医師	理学療法開始(1回/週)
相談等 相談機関 相談内容 相談担当者 心理検査 など			言葉の相談を受ける みくまの支援学校 〇〇先生担当
保育・療育・教育等 入園施設名 入学校名 担任の名前 通級指導教室の利用 など			
福祉 各種手帳の取得 福祉サービスの利用 補装具等の給付 など		身体障害者手帳取得	
移行支援 卒業・入学移行 学校見学 一日体験学習 実習・就労先 など			
地域 学童保育 習い事 など			
その他 余暇の過ごし方 友人 興味・関心など		祖母の自宅で過ごすこと が多い。ミニカーを並べ て遊ぶのが好き。	兄とテレビを見て、歌っ たり、踊ったりして過ご す。歌や踊りが好き。 人見知りが少ない。 偏食が多い。





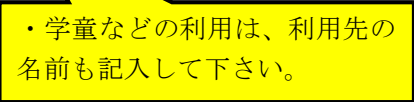
・かかりつけの病院や担当医を記入下さい。
 ・常に投薬のあるものは詳しく記入下さい。(薬の名前や服用回数等)
 ・リハビリ等を受けた場合は、機関名と担当者名を記入下さい。
 ・大きな病気などした場合は、受診の記録として活用下さい。

・相談時の担当者や内容を簡潔に記録
 ・心理検査の実施の有無
 ・心理検査の結果記録 等

・各種手帳の取得時関係機関名や記録
 ・デイサービスやヘルパーの利用について
 ・装具の作成日や作り変え日等
 ・その他サービスの利用について 等
 内容の詳細については「手帳の記録」を活用下さい。

・友人関係、遊び方、遊び場所、過ごす場所
 ・誰と過ごしているか
 ・興味や関心のあるものや場所
 ・その他

年度	H4年度(3才児・学年)	H5年度(4才児・年)	H6年度(5才児・学年)
家族 転居 兄弟の誕生 など	運動会 先生に手を 引かれてかけっこに 参加した。	新宮市内に引っ越す (父方の両親と同居)	
医療 病院 担当医 投薬 受診の記録 医療的ケア リハビリ(言語療法・ 作業療法・理学療法等) など	○○病院 眼科受診 メガネをかけはじめる	<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> <記入項目例> ・家族のことや様子 ・環境の変化 等 </div> ××症と診断(□月□日) ○○病院 ○○医師	
相談等 相談機関 相談内容 相談担当者 心理検査 など	発達相談(○月○日) ○○医師	きこえとことば・みえ かた相談会利用 <児童相談所> 療育手帳取得のため 検査を受けた	
保育・療育・教育等 入園施設名 入学校名 担任の名前 通級指導教室の利用 など	○○保育園 入園 ○○組 ○○先生 	<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> ・年齢に合わせて、変更や追加があれば御記入下さい。 ・通級指導教室学校名と担当者名 等 </div>	
福祉 各種手帳の取得 福祉サービスの利用 補装具等の給付 など		療育手帳取得 (△月△日)	
移行支援・労働等 卒業・入学移行 学校見学 一日体験学習 実習・就労先 など			○○小学校 体験学習参加
地域 学童保育 習い事 など	<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> ・居住地の地域とのつながり ・地域での生活について ・習い事の内容や様子 等 </div>		習字を習う
その他 余暇の過ごし方 友人 興味・関心 など		家族でユニバーサル・ジ ャパンへ旅行	放課後は、近所の友達の家でよく遊んでいる。 家では、ビデオを見て過ごすことが多い。

年度	H7年度(6才・小1年)	H19年度(18才・高3)	H20年度(19才)
家族 転居 兄弟の誕生 など	〇〇市△△町に引越し		
医療 病院 担当医 投薬 受診の記録 医療的ケア リハビリ(言語療法・ 作業療法・理学療法等) など	〇〇病院リハビリ △月△日より 言語訓練開始 (〇〇先生)		〇〇病院精神科受診 (障害者年金申請の為) 〇〇医師の診断
相談等 相談機関 相談内容 相談担当者 心理検査 など			市町村役場へ年金申請に ついて相談 
保育・療育・教育等 入園施設名 入学校名 担任の名前 通級指導教室の利用 など	〇〇小学校 入学 (担任：△△先生) 	〇〇高等学校 卒業 (担任：△△先生) 	
福祉 各種手帳の取得 福祉サービスの利用 補装具等の給付 など	児童デイサービス利用 (週5日)	短期入所利用 (〇〇事業所)	ヘルパー利用 自宅送迎あり (15時～18時)
移行支援・労働等 卒業・入学移行 学校見学 一日体験学習 実習・就労先 など		〇〇福祉事業所へ 施設実習(△月△日) 	〇〇福祉事業所へ就職
地域 学童保育 習い事 など	〇〇小学校〇〇学童を 利用(月・木曜日) 		
その他 余暇の過ごし方 友人 興味・関心など			ヘルパーと一緒に買い物 をしたり、プール行っ たりしている。(週2回) 福祉事業所の余暇支援 活用(月2回)

本人の様子

このシートは、本人の様子を各項目ごとに記入し、他の関係機関（相談先、医療・福祉機関、学校、その他等）に提出することで、本人の様子を的確に伝え、情報を共有することができます。提出する際は、提出先を記入してください。

氏名	記入者	提出先
みくまの 花子	みくまの 太郎	みくまの支援学校

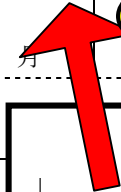
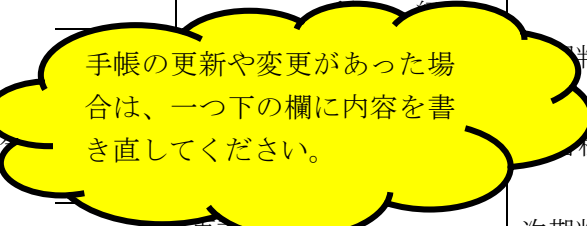
健康・体のこと	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠が不安定で、なかなか寝ません。 ・てんかん発作があります。 ・体温調節が自分で出来ないので衣服調整が必要です。 ・車椅子で移動します。（一人での乗降はできません） <p>※詳しい支援方法については別紙シートがあります。</p>	<p>このようなことについて書きましょう。</p> <p><健康面に関すること> 睡眠、生活リズム、呼吸、体温、脈拍、病気 等</p> <p><身体面に関すること> 視覚、聴覚、姿勢、移動手段、手足の動き方 等</p> <p><その他> 清潔、衣服の調整 等</p>
生活・身の回りのこと	<ul style="list-style-type: none"> ・かなり強い偏食があります。 ・スケジュールの急な変更はパニックがあります。 ・服を脱ぐことは一人でできます。 <p>着る時は、支援が必要です。</p>	<p>このようなことについて書きましょう。</p> <p><生活面に関すること> 片付け、用具の使用や活用、役割、お金の理解 等</p> <p><身の回りに関すること> 食事、排せつ、衣服の着脱 等</p> <p><その他> あいさつ、スケジュールの理解や変更 等</p>
行動・人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・急に道路へ飛び出すことがあります。 <p>外出時には、手をつないでおく必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族にはほとんどの事をジェスチャーで伝えます。 ・扉を閉めることにこだわりがあり、時にはパニックになることがあります。人のいない所で落ち着かせます。 	<p>このようなことについて書きましょう。</p> <p><行動面に関すること> 感情のコントロール、危険回避、危険予知、パニック、遊びの様子、集団参加、公共施設の利用 等</p> <p><人との関わりに関すること> 家族との関わり、友達との関わり、意思の伝達手段、ルールの理解や遂行、指示や話の内容理解、視線の共有 等</p> <p><その他> こだわりの有無 等</p>
学習や知識に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・1～30まで数えることができます。 ・ひらがなとカタカナの50音が書けます。 ・本読みが苦手で、たどたどしく読みます。 ・ 	<p>このようなことについて書きましょう。</p> <p><学習に関すること> 聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、計算すること、推論すること、描くこと、学習時の様子</p> <p><知識に関すること> 言葉・数の量や理解、物事への理解 等</p>
好きなこと苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・アンパンマンが大好きです。 ・自分のペースで遊ぶと落ち着きます。 ・子どもの泣き声が苦手です。 ・新しいことをするのが苦手です。 	
心配なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばが少ないです。 ・友達と遊ぼうとしません。 ・バランスが悪く、よく転びます。 	

診断・手帳の記録

診断の記録

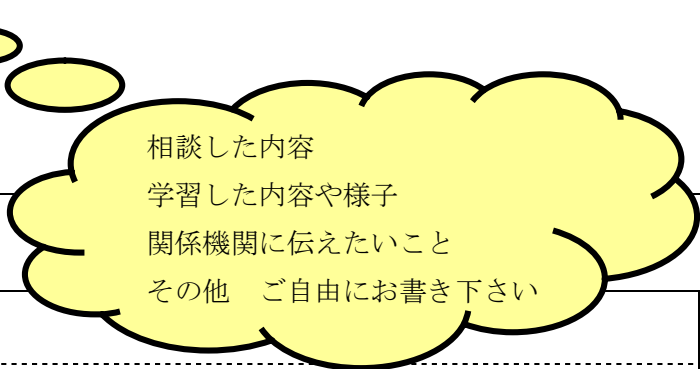
診断名	診断機関	医師名	診断日
ダウン症	〇〇〇病 〇〇科	〇〇〇〇医師	〇〇年 〇〇月 〇〇日
てんかん	△△△病 △△科	△△△△医師	△△年 △△月 △△日

手帳の記録（手帳の更新などで変更があった場合は、1つ下の欄にご記入ください。）

障害者福祉サービス 受給者証	身体障害者手帳	療育手帳	その他の手帳																	
障害程度区分 2 取得日 平成1年1月 日	等級 種 級 再認定期日 年 月 日	障害程度区分 次期判定年月 年 月																		
障害程度区分 4 取得日 平成4年1月1日	等級 種 級 再認定期日 年 月 日	障害程度区分 次期判定年月 年																		
障害程度区分 取得日 年 月 日	等級 再認定期日 年 月 日	障害程度区分 判定年月 年	 <div data-bbox="1037 1108 1540 1512" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;"><療育手帳見本></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">障害の程度</td> <td style="width: 20%;">判定年月日</td> <td style="width: 60%;">平成〇〇年〇月〇日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">A 1</td> <td>次の判定年月</td> <td>平成〇〇年〇月</td> </tr> <tr> <td>判定機関</td> <td>〇〇相談センター</td> </tr> <tr> <td>障害の程度</td> <td>判定年月日</td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td>次の判定年月</td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td>判定機関</td> <td> </td> </tr> </table> </div>	障害の程度	判定年月日	平成〇〇年〇月〇日	A 1	次の判定年月	平成〇〇年〇月	判定機関	〇〇相談センター	障害の程度	判定年月日			次の判定年月			判定機関	
障害の程度	判定年月日	平成〇〇年〇月〇日																		
A 1	次の判定年月	平成〇〇年〇月																		
	判定機関	〇〇相談センター																		
障害の程度	判定年月日																			
	次の判定年月																			
	判定機関																			
障害程度区分 取得日 年 月 日	等級 再認定期日 年 月 日	障害程度区分 次期判定年月 年 月																		
障害程度区分 取得日 年 月 日	等級 再認定期日 年 月 日	障害程度区分 次期判定年月 年 月																		
障害程度区分 取得日 年 月 日	等級 再認定期日 年 月 日	障害程度区分 次期判定年月 年 月																		

記録シート

年 月 日	〇〇年 〇月 〇日
記入者	△△ △△(母)
機 関 名	みくまの支援学校 教育相談
担 当	教育相談担当者 〇〇〇〇先生
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの子に比べ言葉がまだはっきりしないことが気になり相談した。 ・発音の検査を受けた結果、定期的に相談に通うことになった。



自由記入欄

カードやおもちゃを使って、〇〇先生と「か」と「た」の音を聞いたり、言う練習をした。

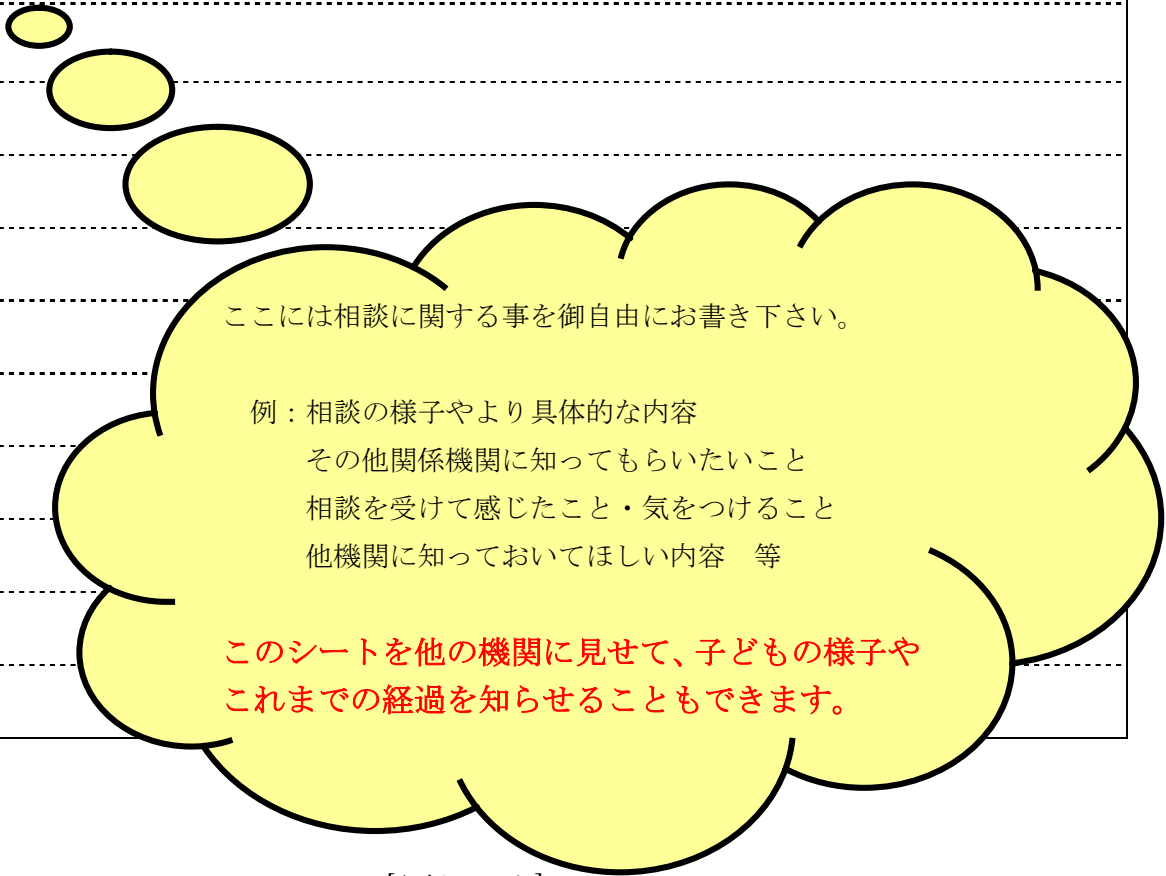
△△（児童名）も初めは緊張していたけど、うまく遊んでくれたので、とてもよくがんばることができた。

〇〇先生から「無理に言葉の言いなおしをさせないように」指導を受けた。

ここには相談に関する事を御自由にお書き下さい。

例：相談の様子やより具体的な内容
 その他関係機関に知ってもらいたいこと
 相談を受けて感じたこと・気をつけること
 他機関に知っておいてほしい内容 等

このシートを他の機関に見せて、子どもの様子やこれまでの経過を知らせることもできます。



支援の方法

このシートは、具体的な支援の方法について記入するためのものです。具体例（別紙）を参考にしながら、本人の状況に応じて、必要と思われるシートを作りましょう。

<項目>

タイトルを書きます。

◆どの支援についてか示す

『パニック』『椅子に座る』『コミュニケーション』といった行動についてでもよいですし、『食事』『トイレ』『外出』等の場面について記入してもよいです。

<本人の状況>

本人のことを書きます。

◆具体的に書く

・支援者によりわかりやすく状況を伝えるためには、あいまいな言葉ではなく、実際に本人がしている行動を書く方がよいでしょう。

例) 「怒る」→ 机をたたく・人をたたく

「パニック」→ 大きな声を出す・自分の頭を叩く

「痛さを伝える」→ 眉間にしわを寄せる。

例) 話を聞かない→ 話を聞かずに、窓の外を見ている。

言葉で伝える→ 「ブランコ、して」など簡単な文で要求を伝える。

<支援者に伝えたいこと>

支援の内容を書きます。

～本人が気持ちよく過ごすために～

◆困った行動が起こってからの対応だけでなく、困った行動が起こる前の手立て・工夫・関わり方など、困った行動を未然に防ぐ予防的な支援も記入する。

◆支援するタイミング(□□のときに)も記入する。

・困った行動が起こりやすい状況や、その行動が起こる前の子どもの様子(子どものサイン)などが具体的にわかれば、支援をする際の助けになります。

◆具体的な支援の様子を記入する。

実際に言うセリフを記入するとより具体的なものになり、支援を実施しやすくなります。

例) 声かけで行動できる→ 「○○君～します。」と声かけすると行動できる

支援の方法 例①

<項目>

コミュニケーションについて
本人→周囲の人（表現手段）

<本人の状況>

- ・言葉で言います。
- ・「これ、ほしい」「ブランコする」などの1～2語分程度は話すことができます。
- ・欲しい物が本人の目の前にないときや、自分では届かない場所にあるときは、手を引いて連れて行こうとします。
- ・トイレに行きたいときは、股間が気になる様子で触ります。
- ・注意を向けてほしいときは、手を握ってきます。

<支援者に伝えたいこと>

- ・こちらの要求は、簡単な単語や短い文章で伝えるとわかります。
- ・片付けなど急に声をかけても、時間がかかるので、前もって伝えておくと切り替えが早くなります。
- ・トイレに行きたい様子がある時は、「トイレ行く？」と質問すると「ある。」と答え、トイレに行きます。
- ・要求がわかりにくい時は、物を指差して「これ？」と質問すると、頷いたり、「うん。」と答えたりできます。

支援の方法 例②

<項目>

パニックの様子と対応について

<本人の状況>

【本人がしたいと思っていることを妨げられたとき】

- ・まだ遊ぼうとしているときに、無理やり終わらせようとした時や本人が使っているおもちゃを他の誰かに取られた時にパニックを起こします。

【嫌なことをさせられようとしているとき】

- ・行きたくない場所に無理に連れて行かれそうになったときにパニックを起こします。

【怖いものや苦手なこと、嫌いなものごとがあったとき】

- ・犬の鳴き声が苦手で、犬に近づくとパニックを起こします。

【パニックの様子】

- ・大声で泣き叫ぶ事が多いです。
- ・ひどいときは、近くにいる人を叩くこともあります。

<支援者に伝えたいこと>

- ・落ち着くまでに、短いときで 5 分程度、長いときで 30 分くらいかかることもあります。
- ・他人との関係で問題がなければ、そのまま知らん顔をしていてください。
- ・過剰に反応すると、さらに大きなパニックを誘発することがあります。
- ・少し落ち着いた時に、大好きなトーマスの絵本を見せたりして、気分転換をはかるのがよい方法です。

【できること】

- ・いつもと違う活動や場所について予告すると、新しい場所にも入っていくことができます。場所は、写真を見せるとより安心します。

支援の方法 例③

<項目>

車椅子に座る

<本人の状況>

- ・ 1人で座ることができないので、座位保持椅子を使っています。
- ・ 体に痛みを感じている時は、眉間にしわを寄せ小さい声で泣きます。
- ・ 体温調節が難しく、だいたい 22℃を切ると寒さを感じています。

<支援者に伝えたいこと>

- ・ 座位保持椅子に座らせるには、守って頂きたい手順があります。
手順は下にも書いていますが、詳しい手順を確認したいので、必ず保護者とともに練習してくださいませようお願いします。

【座位保持椅子に座るときの手順】

- ① リクライニングを目いっぱい倒しておきます。
 - ② 背もたれに腰部がしっかり接触するまで奥に座らせます。
 - ③ 骨盤が水平になるように位置を調えます。
 - ④ 骨盤ベルトを締めます。
 - ⑤ 洋服を調べ、左右の肩の高さが揃っているか確認します。
 - ⑥ 胸ベルトを締めます。
 - ⑦ リクライニングを起こし、顔が正面を向いているか見ます。
- ・ 転落防止のため、ベルトは腰と胸の 2 つを必ず止めておいて下さい。
 - ・ 靴は必ず履かせて下さい。
 - ・ 外出する際には、ひざ掛けを必ず携帯してください。寒いと感じていたら(手の甲や腕に鳥肌が立ちます)ひざ掛けで全体を覆ってください。鳥肌がおさまらない時は、連絡を下さい。